

1. 更なる防災体制の整備・充実を

防災拠点である役場新庁舎が平成 32 年 4 月供用開始に向け、町民の期待が高まっている。

近年、全国各地では想定外の大規模災害が発生している。被災地からは、初動対応として「防災計画における災害対策本部の運営体制が機能しなかった」、「災害用備蓄品の整備が出来ていなかった」、「災害応援協定先の企業も被災し、協定が機能しなかった」、「要支援者及び避難所以外の避難者の把握ができなかった」等、多くの課題が挙げられている。

また、避難所運営は、多岐にわたる大量の業務が発生し、運営に膨大な労力が必要となり、職員が身も心も疲弊してしまい、業務に支障が出てしまったと聴いた。

災害が発生しないことが一番ではあるが、本町においても更なる防災体制の整備・充実が必要であると考え、町の考え方を問う。

2. 学校プールに関して町の考え方を問う

町民プールの解体により、開成小学校の水泳指導は、平成 29 年度から南足柄市の体育センターで行われている。天候に左右されることなくカリキュラムが消化され、教職員、保護者、児童にも好評である。

しかしながら、議会報告会・意見交換会、町民集会等では町民から「プールを設置すべきである」、「町はどのような考えなのか」との意見・要望が数多く発せられている。

そこで、学校プールに関して町の考え方を問う。